



錦画百事新聞 官許

東京下り
澤村田之助

往昔谷村捨八の首人となりハ島日記の景清おて諸人を
威絶せしや近き實川頼子郎ハ關眼と多くて色情狂言
の艶を垂ては坐頭と呼ばれ名譽人の知る處ありふ
當る上月中の芝居へ來あみ沢村田之助ハ五射不具や
て浦里の役を廻りて其美情實に古今掄代の奇量
多入目を驚驚るも業者ふて日々の大入凡るを前座の
二名ふもかくさるる一銘入定ハ後世耀るべしはいて
東國百物がりと標号して堀己のか百後既
ふ清姫の狂言をつとむるを定めて
奇成るをききし者かへりて
半足を揚げて待つ

編輯人友鳴吉
印刷人前田喜光

澤村田之助